

2014年12月5日

全国信用金庫同友会

代表幹事 神保和彦 殿

全国金融労働組合連合会

中央執行委員長 中島康隆

要 請 書

貴職のご活躍に敬意を表しますとともに、日頃のご協力に感謝申し上げます。

金融労連は、9月13日～14日の2日間、第9回定期全国大会を東京都内で開催し、2015年度の運動方針等を決定しました。

私たちは、労働者の生活と権利を守り、地域金融機関が健全で民主的に発展することをのぞむ立場から、貴協会(貴会)が次の事項の実現に向けて努力されるよう要請いたします。

記

1. 年末は過当競争が激化し、繁忙期を理由とした不払い残業が増え、休日出勤も懸念されます。賃金不払い残業などの法違反をなくすことはもとより、年末・年始の労働強化をなくすため、12月30日(火)は原則として定時退社とし、12月31日(水)～1月4日(日)は完全休業とするよう会員金融機関に注意喚起すること。また12月30日の休日化実現を関係当局に働きかけること。
2. 金融リスク商品については、無理な勧誘につながる従業員へのノルマ(目標)販売をやめ、金融商品取引法を遵守すること。
3. 急増する過労死やメンタル不全などを防ぐため、長時間過密労働やパワーハラスメント等の解消をすすめ、労働者の心身両面にわたる健康保持を具体的に図ること。
4. 2013年4月からの無年金時代への対応について、選別基準の廃止はもとより、少なくとも年金支給時期までの定年延長と60歳時の賃金水準の保障、定年再雇用者に対する正社員との差別待遇の改善等を図られるよう会員金融機関を指導すること。
5. 時代の流れに逆行する就業時間の延長をやめるとともに、総実労働時間の短縮に向けた具体的な施策を進めるよう指導すること。
6. 武生信金に対して、経営者の不正融資を内部告発しようとした職員2名の懲戒解雇を撤回し職場復帰させるよう指導すること。
7. 渡島信金・小樽信金・網走信金争議の早期解決を働きかけること。

以 上